

### 第3章 現地法人の販売調達活動と我が国との貿易

#### 1.2. 製造業現地法人の販売調達状況

##### (1) 製造業現地法人の販売状況

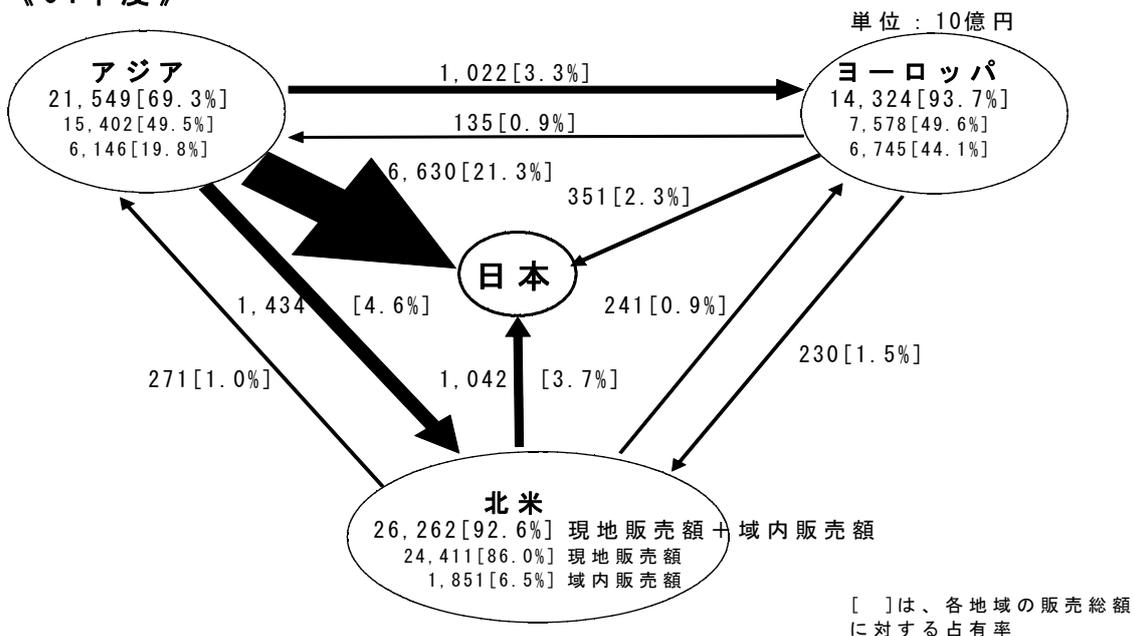
###### 現地販売・域内販売が引き続き好調なアジア

- 2004年度の製造業現地法人の各地域毎における総販売額をみると、アジアに立地した企業については31.1兆円(前年度比20.1%増)、ヨーロッパは15.3兆円(同11.1%増)と増加し、北米は28.4兆円(同2.7%増)の低い伸びとなった(第12-1表、第12-2図)。
- 各地域毎の製造業現地法人の販売総額に占める現地<sup>註</sup>販売額と域内<sup>註</sup>販売額との合計額の比率は、北米92.6%、ヨーロッパ93.7%と高い比率であり、アジアでも69.3%を示し生産地における消費傾向が続いている(第12-1図)。
- 各地域毎の製造業現地法人の現地販売額をみると、北米は24.4兆円(前年度比1.2%増)、アジアは15.4兆円(同16.9%増)、ヨーロッパは7.6兆円(同2.3%増)となり全地域で増加している。特にアジアは5年連続で増加した。域内販売額では、北米は1.9兆円(同▲16.2%減)と減少したが、ヨーロッパは6.7兆円(同20.9%増)、アジアは6.1兆円(同23.1%増)と増加した(第12-2表)。
- 一方、各地域毎の製造業現地法人の現地販売比率と域内販売比率をみると、北米は現地販売比率が80%強、域内販売比率は10%未満で推移し、ヨーロッパは年により変動はあるが、現地販売比率と域内販売比率は概ね6対4、アジアも同様に現地販売比率と域内販売比率が5対2であることがうかがわれる(第12-3図、第12-4図)。

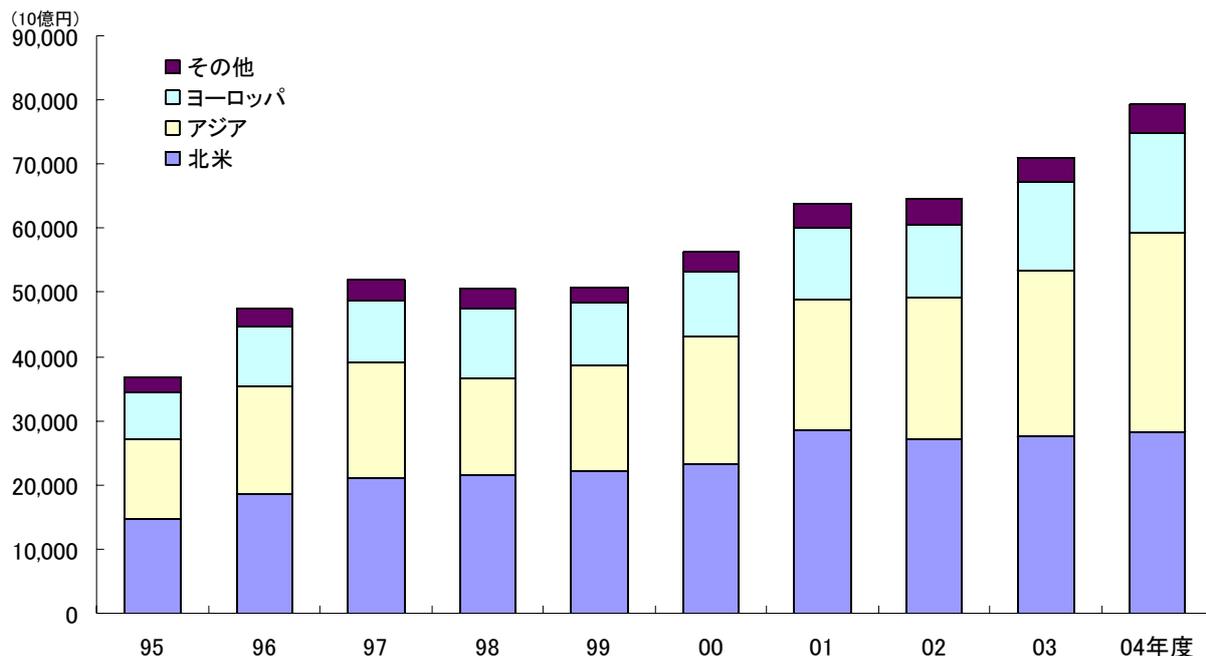
注. 本章において「現地」とは、我が国の進出企業の立地する進出先国等であり、「域内」とはこれら企業の立地する国等が属する地域分類(別添:調査票記入の手引別表1)から、進出先国等を除いた地域をいう。

第12-1図 製造業現地法人の販売先別販売額の状況

《04年度》



第12-2図 製造業現地法人の販売総額の推移（販売先別）



第12-1表 製造業現地法人の販売総額の推移

(単位：10億円)

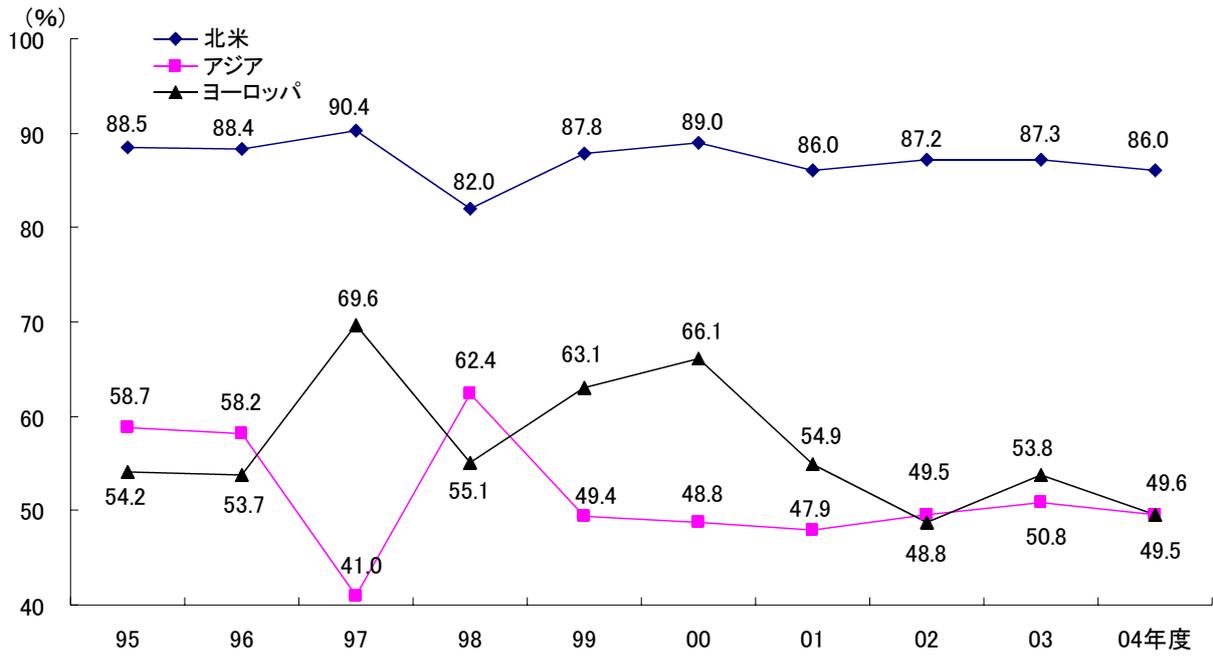
年度		95	96	97	98	99	00	01	02	03	04年度
販売総額	全地域	36,700	47,422	52,073	50,664	50,823	56,219	63,986	64,563	71,038	79,308
	北米	14,732	18,482	21,086	21,693	22,081	23,390	28,540	27,051	27,633	28,375
	アジア	12,301	17,008	17,988	14,814	16,673	19,898	20,268	22,077	25,912	31,109
	ヨーロッパ	7,381	9,116	9,548	11,062	9,729	9,890	11,205	11,489	13,758	15,286
	その他	2,285	2,816	3,451	3,094	2,339	3,042	3,973	3,946	3,735	4,538

第12-2表 製造業現地法人の現地販売額・域内販売額の推移

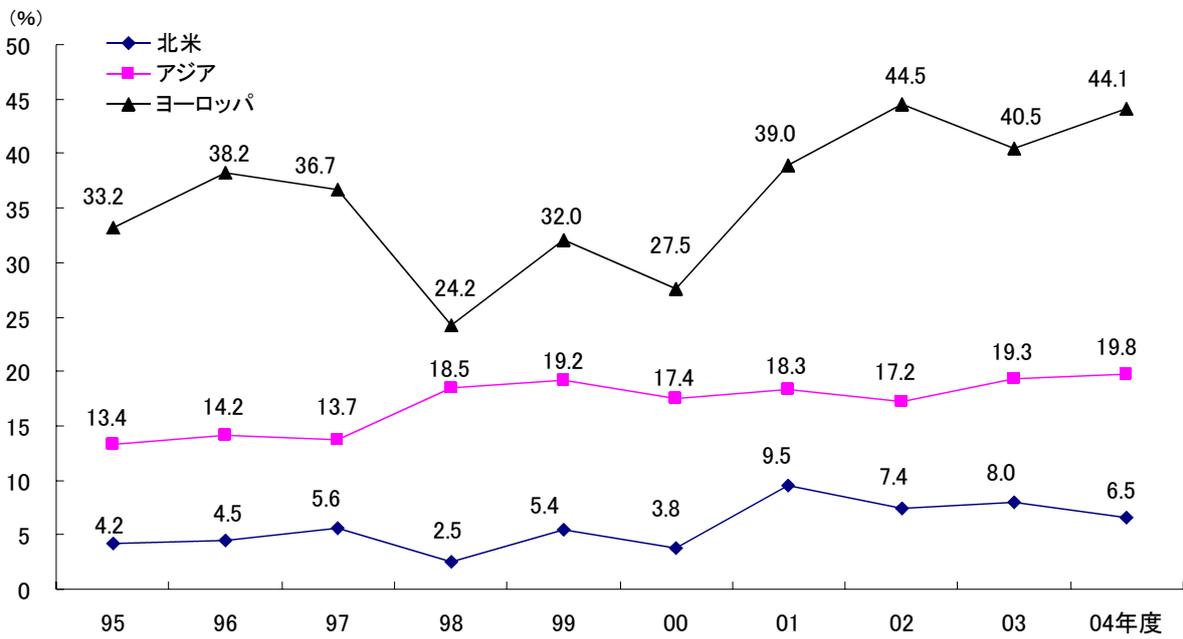
(単位：10億円)

年度		95	96	97	98	99	00	01	02	03	04年度
現地販売額	北米	13,038	16,330	19,051	17,779	19,395	20,829	24,558	23,597	24,115	24,411
	アジア	7,226	9,901	7,379	9,248	8,238	9,710	9,717	10,935	13,173	15,402
	ヨーロッパ	4,000	4,896	6,649	6,095	6,137	6,536	6,146	5,610	7,409	7,578
域内販売額	北米	615	835	1,176	551	1,202	884	2,702	2,009	2,210	1,851
	アジア	1,644	2,417	2,463	2,735	3,194	3,471	3,708	3,803	4,992	6,146
	ヨーロッパ	2,449	3,481	3,507	2,683	3,116	2,724	4,368	5,113	5,578	6,745

第12-3図 製造業現地法人の現地販売比率の推移



第12-4図 製造業現地法人の域内販売比率の推移

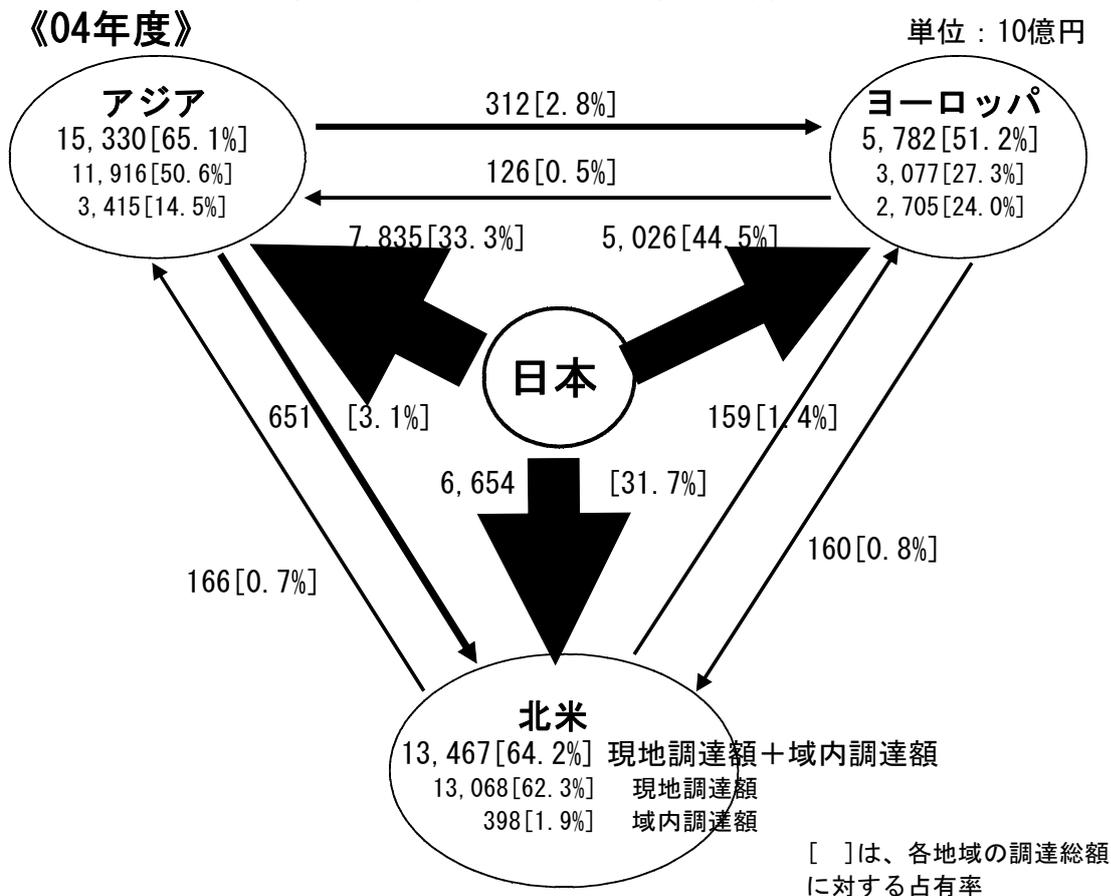


## (2) 製造業現地法人の調達状況

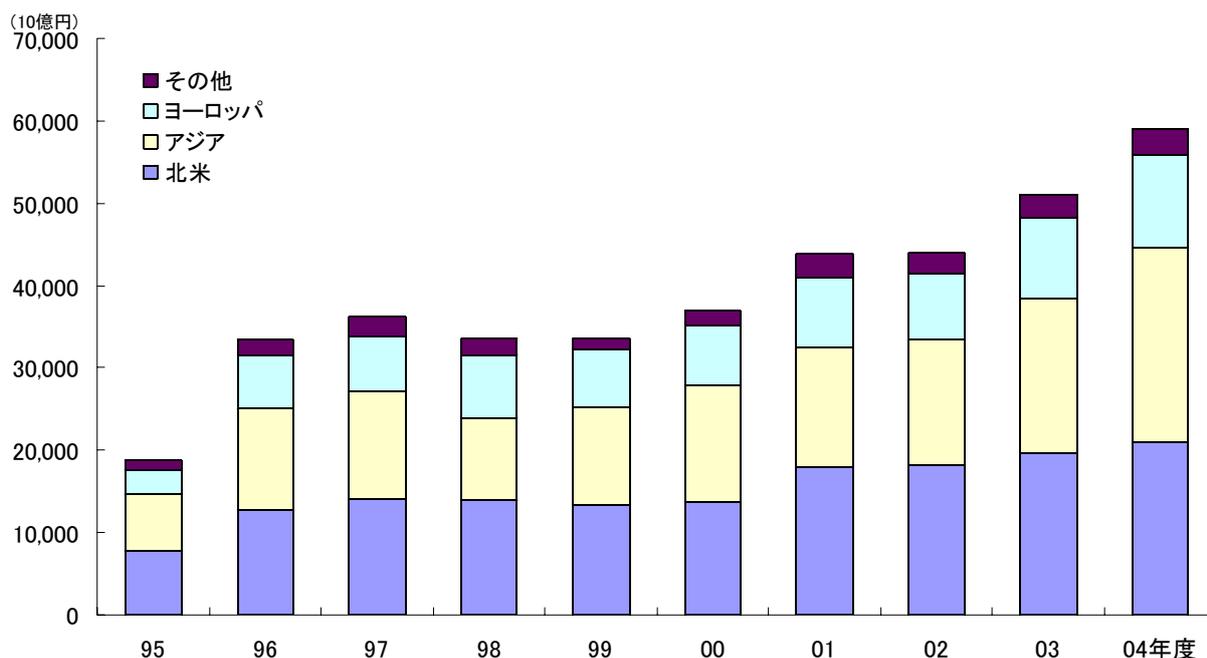
### 引き続き増加するアジアの現地調達額

1. 製造業現地法人の総調達額は、アジアに立地した企業については23.5兆円(前年度比25.1%増)、ヨーロッパは11.3兆円(同13.6%増)とそれぞれ増加となったが、北米は21.0兆円(同7.0%増)と比較的緩やかな増加に留まった(第12-3表、第12-6図)。
2. 各地域毎の製造業現地法人の現地調達額をみると、アジアは11.9兆円(前年度比18.1%増)、北米は13.1兆円(同14.6%増)、ヨーロッパは3.1兆円(同7.9%増)の増加となった。域内調達額は、アジアは3.4兆円(同30.3%増)と大幅に増加したが、北米は0.4兆円(同▲51.8%減)、ヨーロッパは2.7兆円(同▲3.0%減)と減少した(第12-4表、第12-5図)。
3. 各地域毎の製造業現地法人の現地調達比率でみると、アジアは50.6%と3年連続の増加傾向から減少に転じた。北米は62.3%と1999年以降増加傾向にある一方、ヨーロッパは27.3%と1999年以降連続の減少となった。一方、域内調達比率をみると、アジアは14.5%と概ね横ばいとなっているが、北米は1.9%、ヨーロッパは24.0%と前年度に比べ大幅に減少した(第12-7図、第12-8図)。

第12-5図 製造業現地法人の調達先別調達額の状況



第12-6図 製造業現地法人の調達総額の状況（調達先別）



第12-3表 製造業現地法人の調達総額の推移

(単位：10億円)

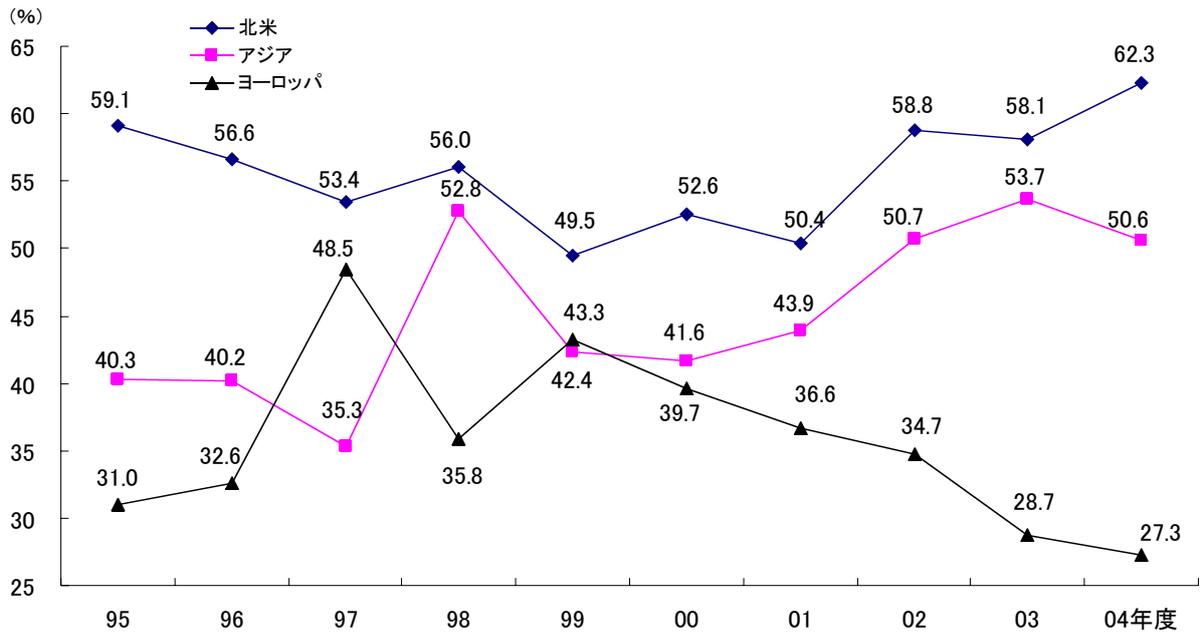
年度		95	96	97	98	99	00	01	02	03	04年度
調達総額	全地域	18,719	33,367	36,272	33,675	33,673	36,943	43,736	44,047	51,035	59,073
	北米	7,796	12,754	14,187	13,982	13,452	13,657	18,034	18,119	19,612	20,989
	アジア	6,914	12,244	12,909	10,018	11,817	14,262	14,385	15,343	18,808	23,533
	ヨーロッパ	2,923	6,559	6,693	7,629	6,961	7,084	8,535	7,895	9,939	11,291
	その他	1,087	1,810	2,483	2,046	1,443	1,940	2,783	2,690	2,676	3,259

第12-4表 製造業現地法人の現地調達額・域内調達額の推移

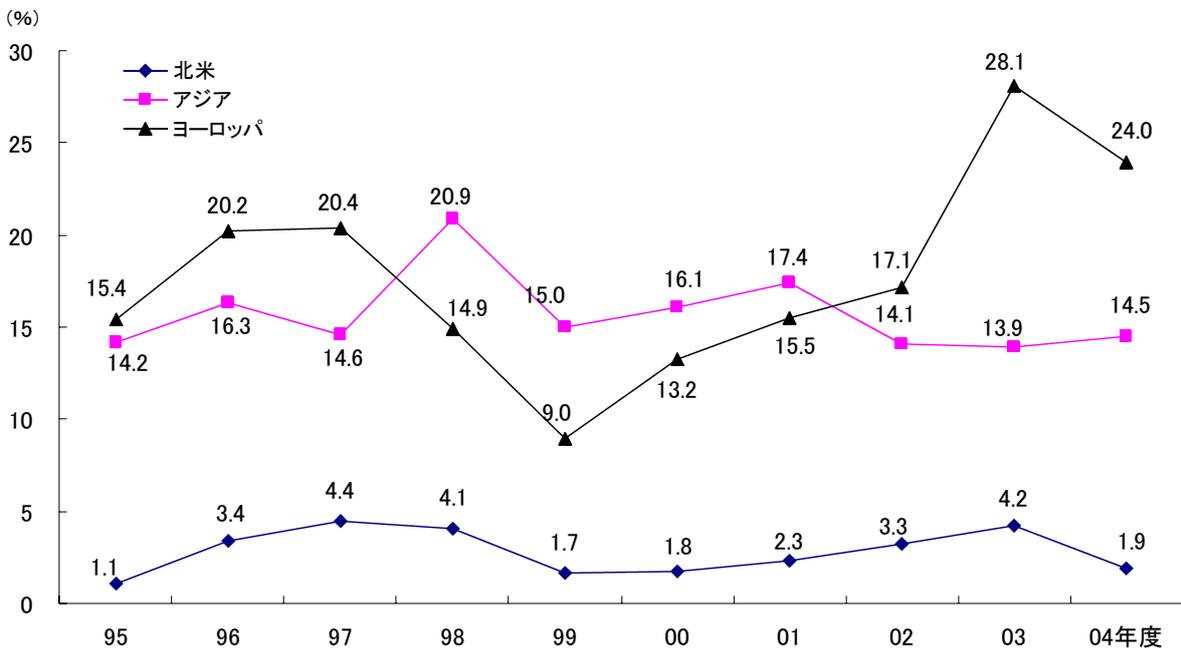
(単位：10億円)

年度		95	96	97	98	99	00	01	02	03	04年度
現地調達額	北米	4,605	7,222	7,577	7,832	6,659	7,183	9,096	10,646	11,403	13,068
	アジア	2,787	4,924	4,558	5,285	5,009	5,938	6,314	7,775	10,092	11,916
	ヨーロッパ	905	2,136	3,244	2,733	3,013	2,810	3,126	2,740	2,853	3,077
域内調達額	北米	83	437	630	573	224	242	421	589	827	398
	アジア	982	1,998	1,888	2,091	1,769	2,294	2,508	2,158	2,621	3,415
	ヨーロッパ	451	1,328	1,363	1,139	625	937	1,322	1,353	2,790	2,705

第12-7図 製造業現地法人の現地調達比率の推移



第12-8図 製造業現地法人の域内調達比率の推移



### 13. アジアの製造業現地法人の販売調達状況

#### (1) アジアの製造業現地法人の販売調達状況

##### 現地調達の伸びを上回り日本からの調達が増加

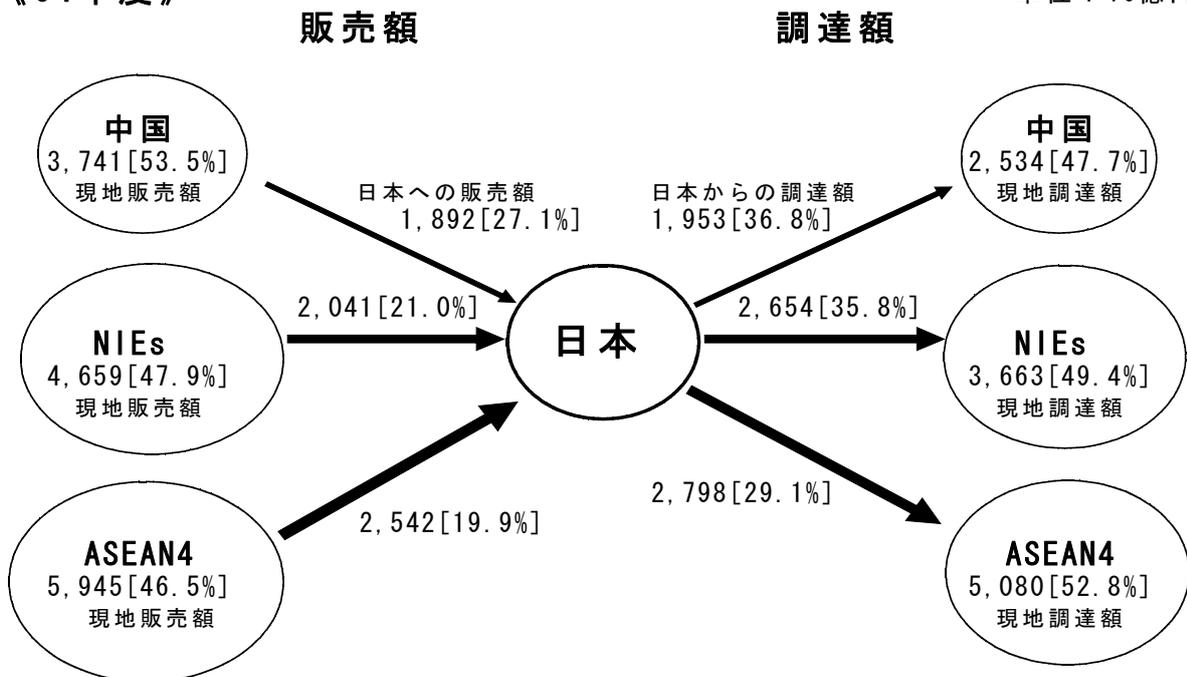
- 2004年度のアジアの製造業現地法人の日本への販売額は、中国に立地した企業については1.9兆円(前年度比44.0%増)と5年連続で増加、ASEAN4<sup>注</sup>も2.5兆円(同15.3%増)と増加したが、NIEs<sup>注</sup>は2.0兆円(同▲1.2%減)と前年度から▲243億円の減少となった(第13-1図、第13-2図、第13-1表)。
- 一方、日本からの調達額は、中国に立地した企業については2.0兆円(前年度比40.0%増)、NIEsが2.7兆円(同31.9%増)、ASEAN4は2.8兆円(同37.3%増)と大幅な増加となった(第13-3図)。
- 各地域の製造業現地法人の現地販売比率をみると、中国に立地した企業は53.5%、ASEAN4が46.5%とともに減少したが、NIEsは47.9%と1998年以降の減少傾向から増加に転じた(第13-4図)。
- 各地域の製造業現地法人の現地調達比率をみると、中国に立地した企業は47.7%と前年度に比べ▲3.7ポイント低下した。増加傾向にあったASEAN4、NIEsについても、それぞれ▲3.1ポイント低下の52.8%、▲2.7ポイント低下の49.4%となった(第13-5図)。

注. 本章において、ASEAN4はマレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、NIEsはシンガポール、台湾、韓国及び香港、中国は香港を除いた。

第13-1図 アジアの製造業現地法人の販売調達状況

《04年度》

単位：10億円



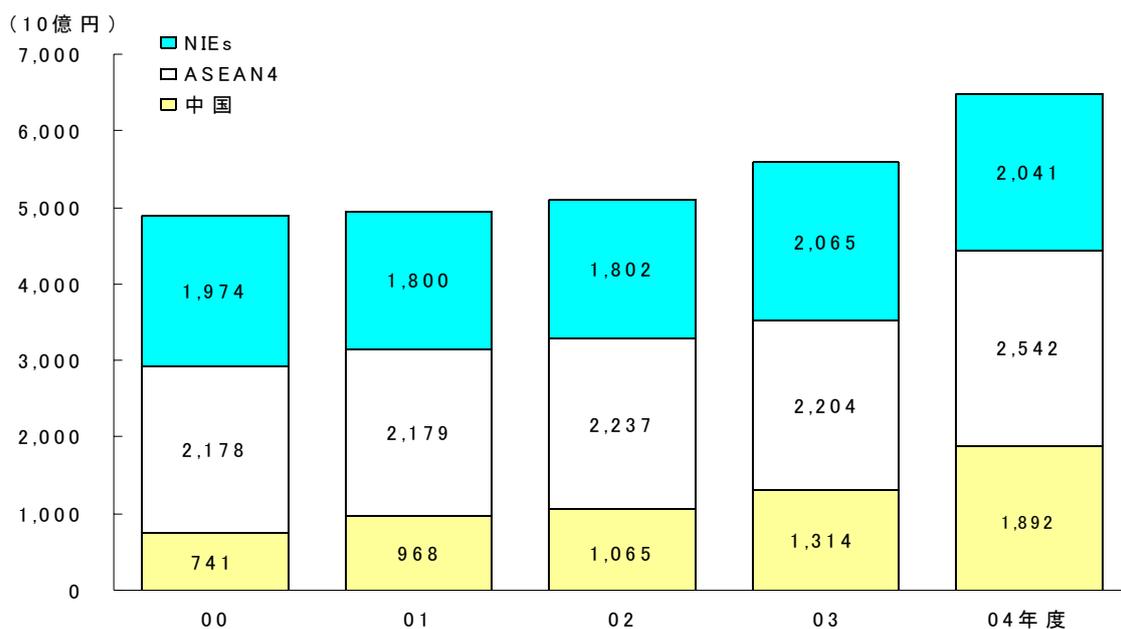
[ ]は、各地域の販売又は調達総額に対する占有率

第13-1表 アジアの製造業現地法人の現地販売、現地調達額の推移

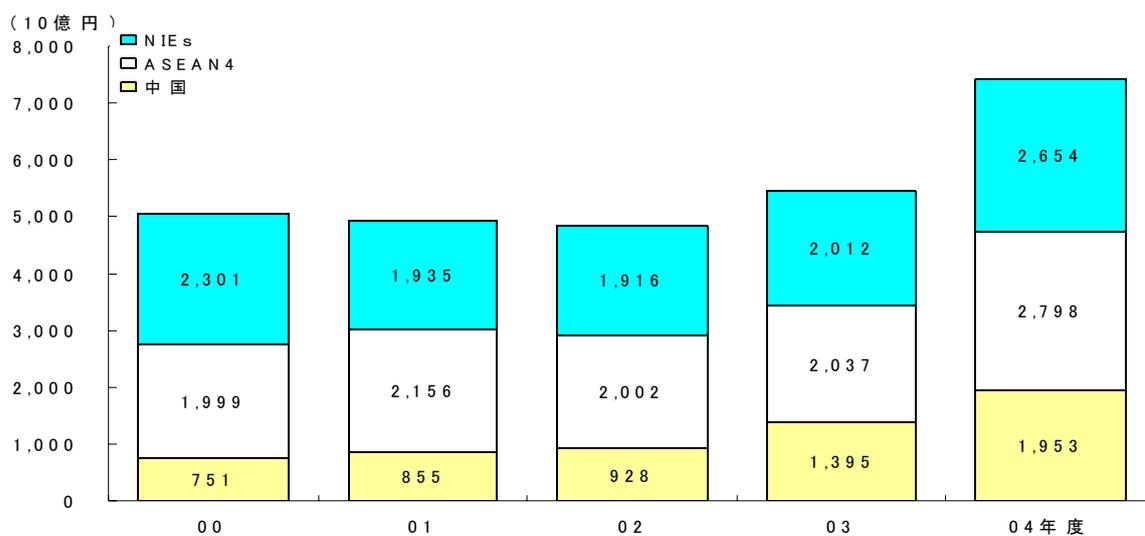
(単位：10億円)

		00	01	02	03	04年度
現地販売額	中国	1,563	1,716	2,328	3,348	3,741
	ASEAN 4	3,010	3,540	4,033	5,194	5,945
	NIEs	4,546	3,807	3,836	3,787	4,659
現地調達額	中国	899	1,028	1,456	2,128	2,534
	ASEAN 4	2,309	2,815	3,311	4,360	5,080
	NIEs	2,570	2,148	2,612	3,131	3,663

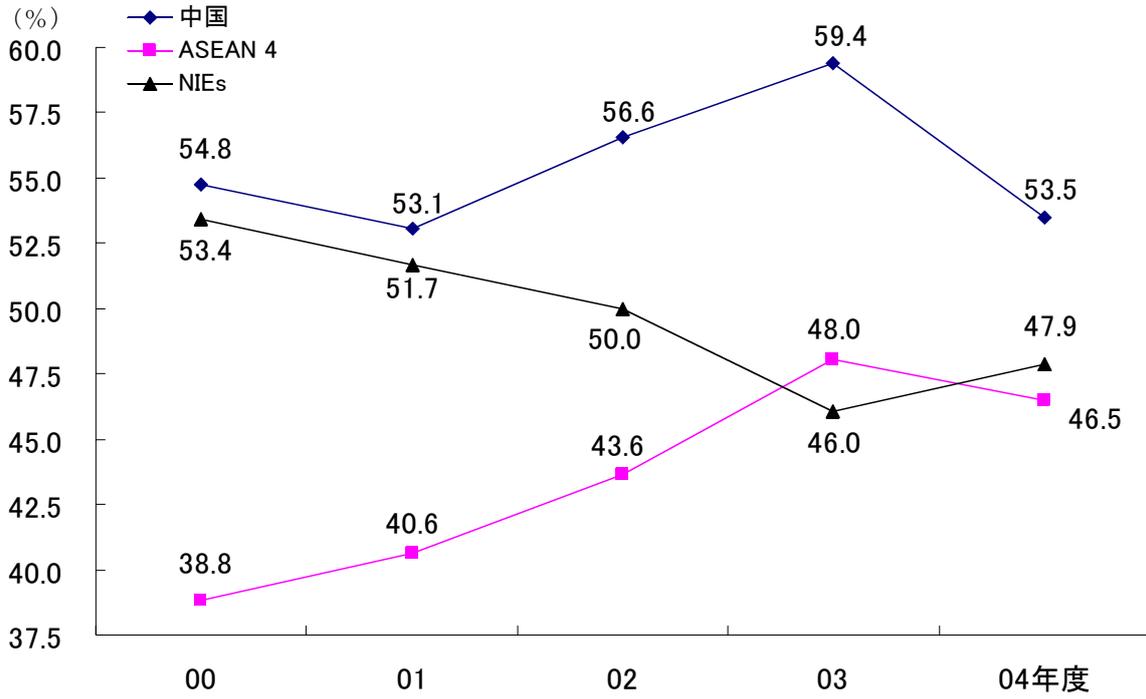
第13-2図 日本への販売額の推移



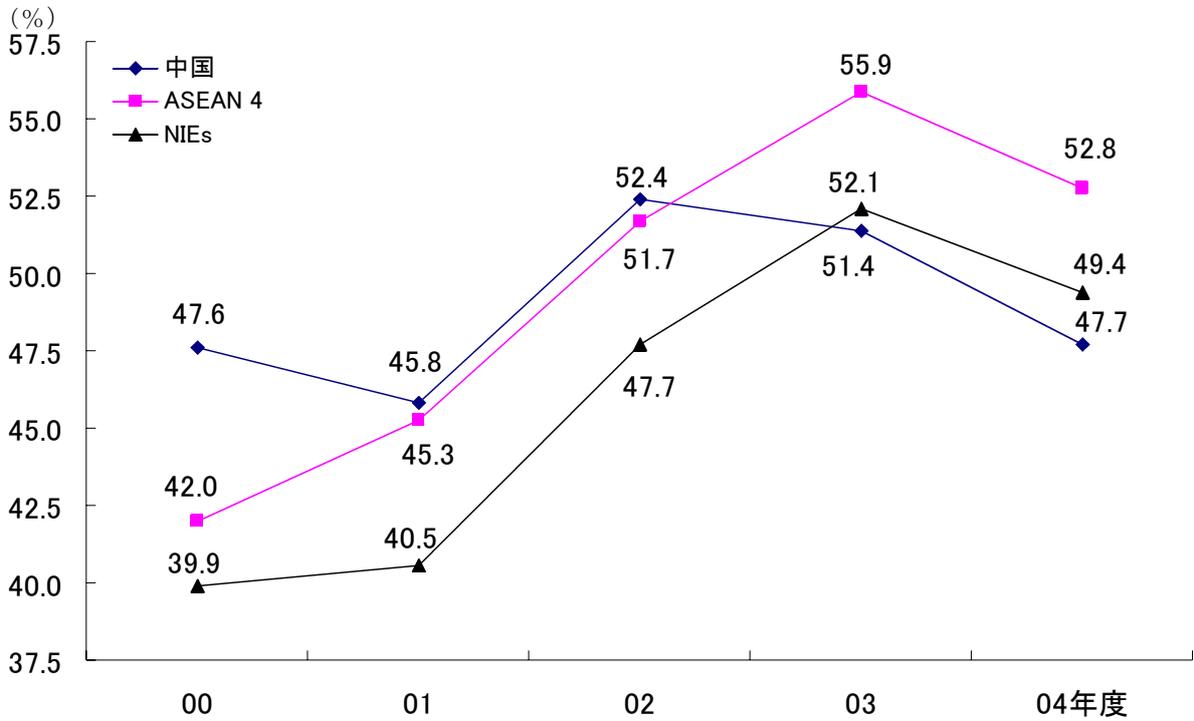
第13-3図 日本からの調達額の推移



第13-4図 アジアの製造業現地法人の現地販売比率の推移



第13-5図 アジアの製造業現地法人の現地調達比率の推移



## (2) アジア域内間での製造業現地法人の販売調達状況

### 域内販売及び域内調達が進む中国、ASEAN4、NIEs

1. 中国、ASEAN4、NIEsの第三国<sup>注1</sup>向け販売額のうちアジア向け販売額は、それぞれ0.9兆円（アジア向け販売額が第三国向け販売額に占める比率は67.1%）、3.0兆円（同70.2%）、1.9兆円（同62.0%）となり、第三国向け販売額に占めるアジア向け販売額の割合は概ね7割となっている（第13-2表、第13-6図）。
2. 中国からASEAN4への販売額は987億円（アジア向け販売額に占める割合は10.8%）、NIEsへは4318億円（同47.4%）、ASEAN4から中国への販売額は3804億円（同12.6%）、NIEsへは5543億円（同18.3%）、NIEsから中国への販売額は7629億円（同40.6%）、ASEAN4へは5901億円（同31.4%）となり、我が国企業の進出が多い地域間の取引が進展していることが推測される（第13-6図）。
3. 中国、ASEAN4、NIEsの第三国からの調達額のうちアジアからの調達額は、それぞれ0.7兆円（アジアからの調達額が第三国からの調達額に占める比率は89.8%）、1.6兆円（同90.4%）、1.0兆円（91.4%）となり、第三国からの調達額に占めるアジアからの調達額の割合は9割となっている（第13-2表、第13-7図）。
4. 中国のASEAN4からの調達額は698億円（アジアからの調達額に占める割合は9.4%）、NIEsからは4059億円（同54.7%）、ASEAN4の中国からの調達額は3270億円（同20.7%）、NIEsからは5473億円（同34.6%）、NIEsの中国からの調達額は3021億円（同30.0%）、ASEAN4からは5008億円（同49.8%）となり、販売額と同様に地域間の取引が進展していることが推測される（第13-7図）。

注1. 第三国とは、企業の立地する国等及び日本を除いたその他国等

2. 集計の都合上、ASEAN4のNIEsへの販売額及び調達額は香港を含まない。

第13-2表 中国、ASEAN4、NIEsの製造業現地法人のアジアの販売調達額の推移

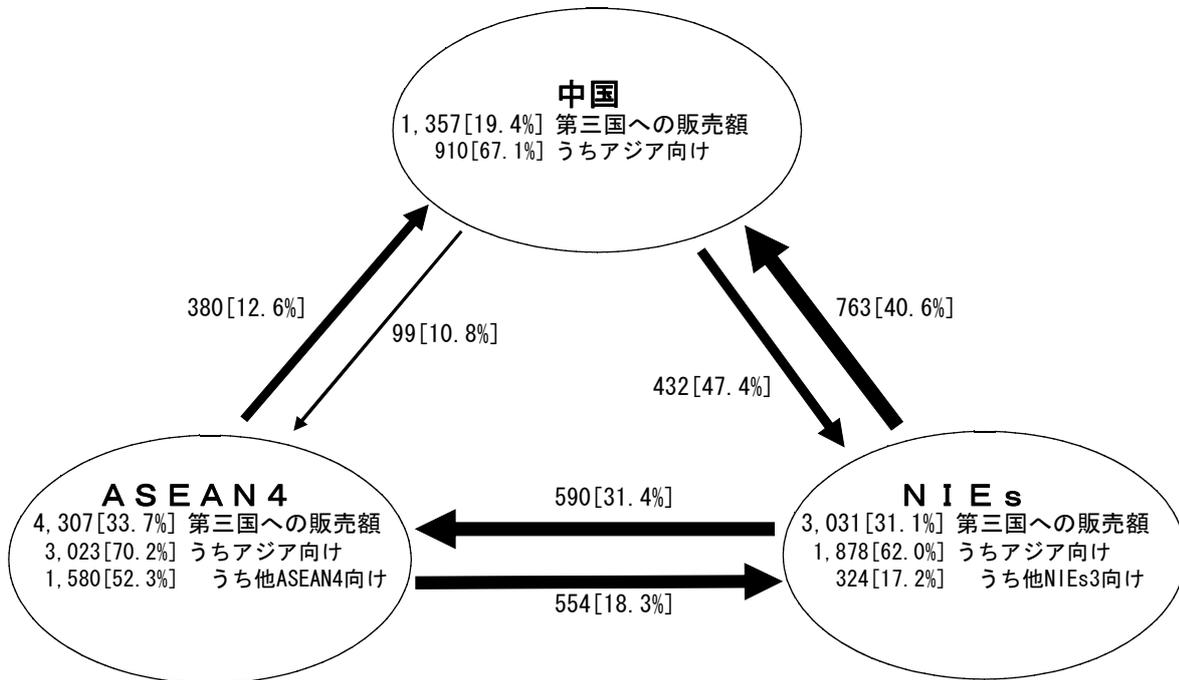
(単位：10億円)

		00	01	02	03	04年度
販売額	中国	442	377	466	602	910
	ASEAN 4	1,632	1,973	1,860	2,540	3,023
	NIEs	1,260	1,134	1,301	1,613	1,878
調達額	中国	232	307	321	523	741
	ASEAN 4	909	1,080	964	1,261	1,582
	NIEs	1,095	1,091	813	784	1,006

第13-6図 中国、ASEAN4、NIEsの製造業現地法人の販売額

《04年度》

単位：10億円

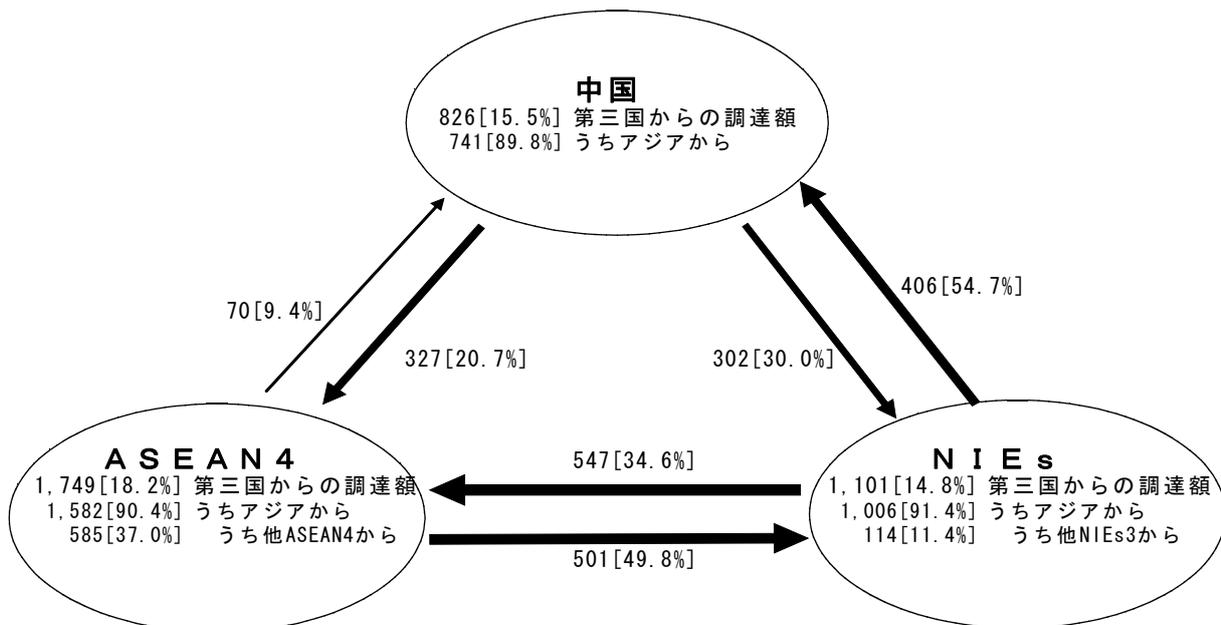


[ ]は、上段：各地域への販売総額に対する占有率  
 中段：各地域の第三国への販売額に対する占有率  
 下段：各地域のアジアへの販売額に対する占有率

第13-7図 中国、ASEAN4、NIEsの製造業現地法人の調達額

《04年度》

単位：10億円



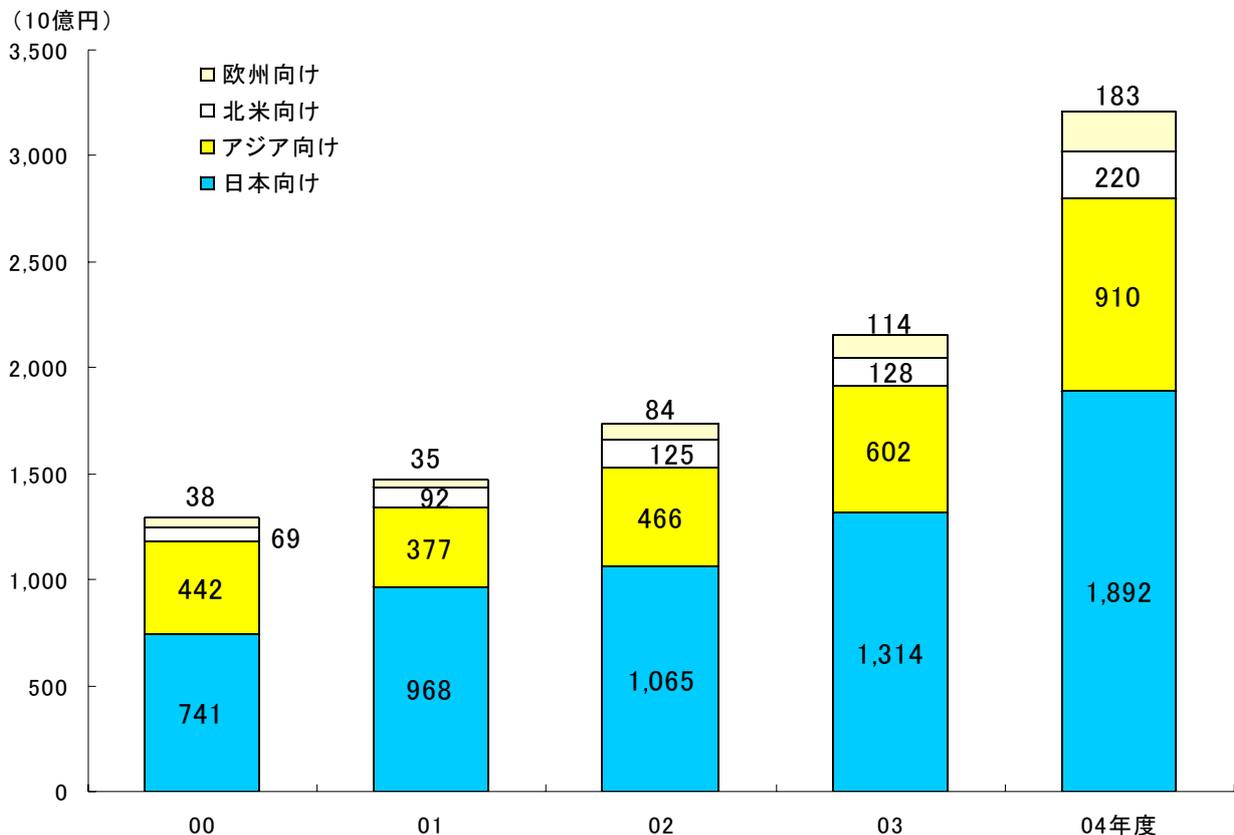
[ ]は、上段：各地域の調達総額に対する占有率  
 中段：各地域の第三国からの調達額に対する占有率  
 下段：各地域のアジアからの調達額に対する占有率

### (3) 中国の製造業現地法人の販売調達状況

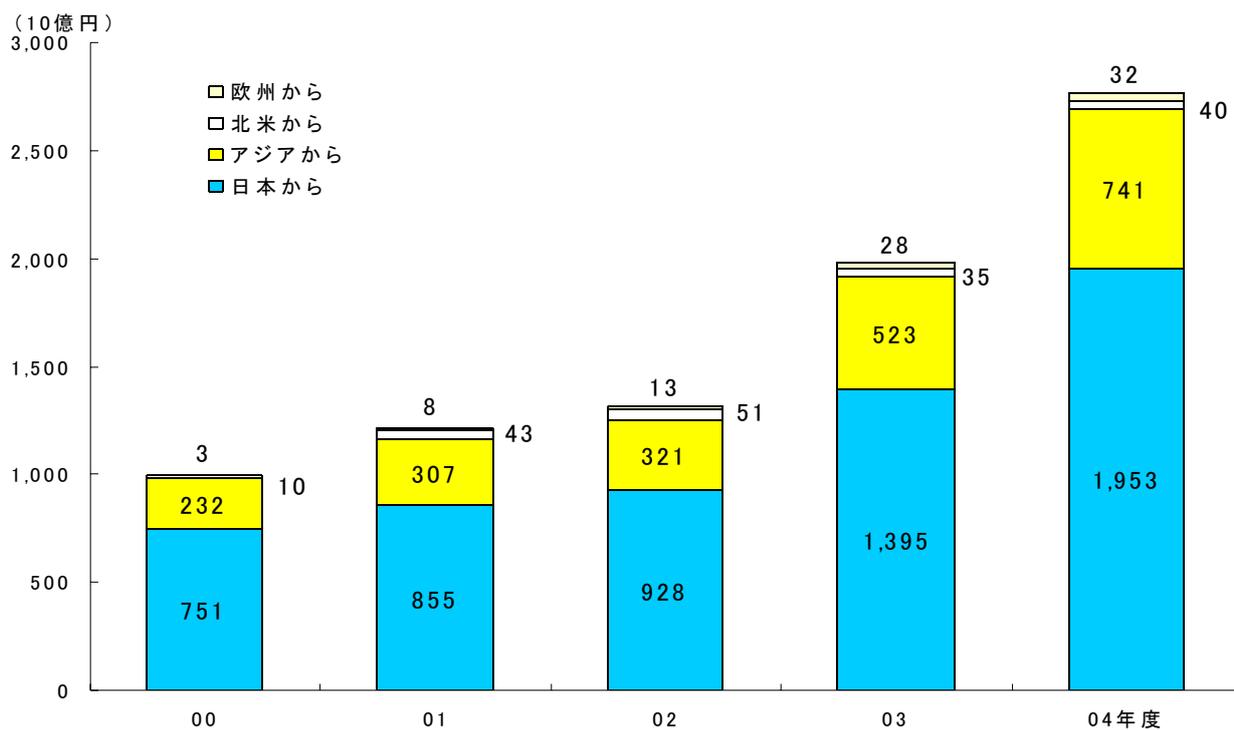
#### 日本向け販売及び日本からの調達が引き続き好調な中国

1. 中国の製造業現地法人の販売先地域別の販売額は、日本向けが1.9兆円(前年度比44.0%増)と前年度から約5781億円増加した。域内であるアジア向けは0.9兆円(同51.3%増)、北米向けは0.2兆円(同71.2%増)、ヨーロッパ向けは0.2兆円(同61.3%増)と全地域向けにおいて大幅に増加した(第13-8図)。
2. 一方、調達先地域別の調達額は、日本から2.0兆円(前年度比40.0%増)と前年度から約5581億円の大規模な増加となった。アジアからは0.7兆円(同41.7%増)、ヨーロッパからは323億円(同15.0%増)、北米からは396億円(同12.0%増)とそれぞれ増加した(第13-9図)。
3. 製造業現地法人の日本向けの販売額を業種別でみると、輸送機械が2302億円(前年度比91.3%増)、情報通信機械が5798億円(同31.8%増)、電気機械が3889億円(同53.9%増)、一般機械が2067億円(同83.2%増)と増加。また日本からの調達では、輸送機械が4499億円(同34.6%増)、情報通信機械が5819億円(同29.4%増)、電気機械が2997億円(同75.1%増)、精密機械が1391億円(同106.4%増)とそれぞれ増加している(第13-10図、第13-11図)。

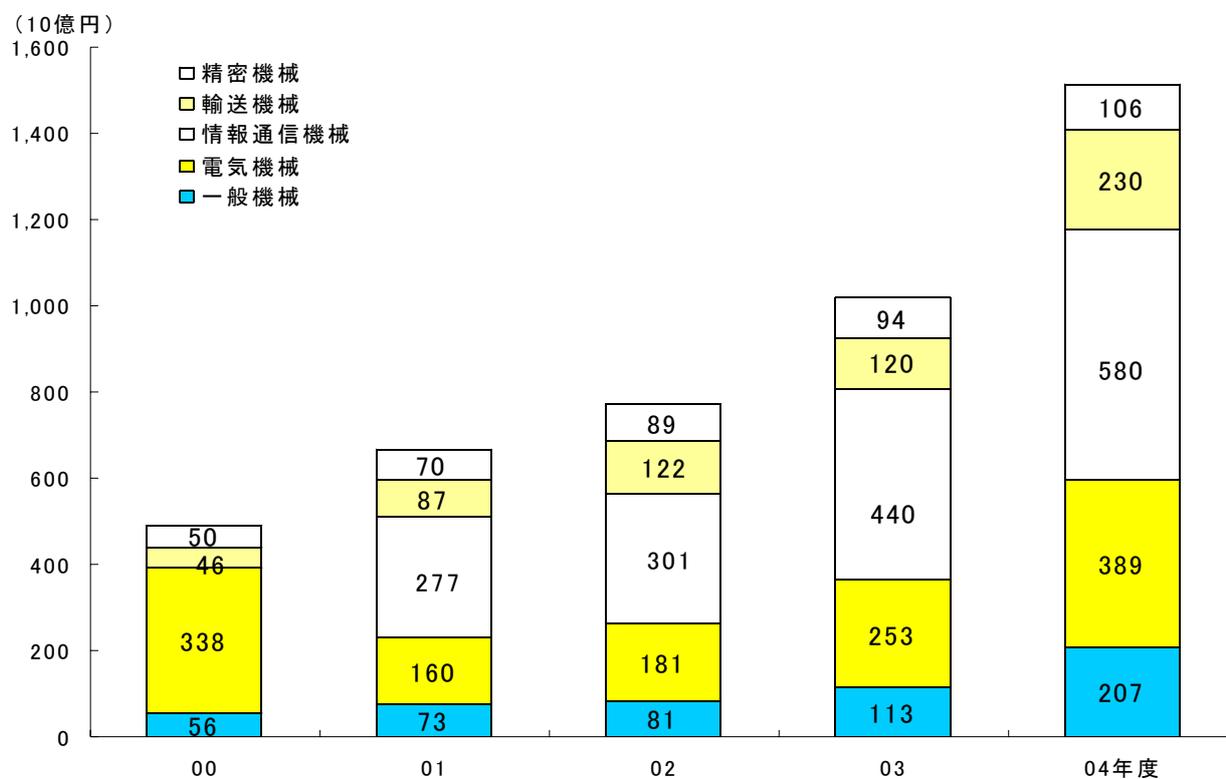
第13-8図 中国の製造業現地法人の販売額(地域別)



第13-9図 中国の製造業現地法人の調達額(地域別)

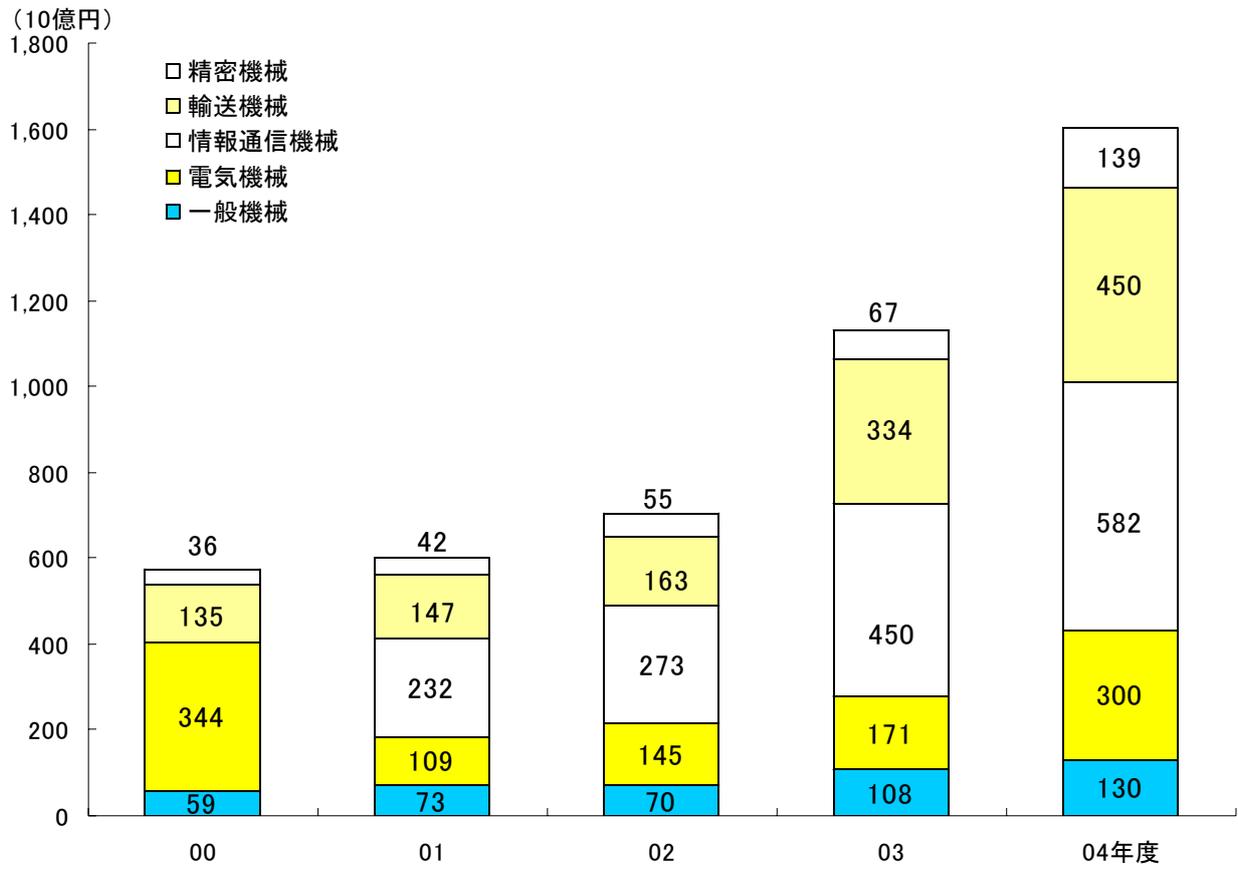


第13-10図 中国の製造業現地法人の日本向け販売額(主要業種別)



注. 2000年度までは情報通信機械は電気機械として分類している。

第13-11図 中国の製造業現地法人の日本からの調達額(主要業種別)



注：2000年度までは情報通信機械は電気機械として分類している。

## 14. 製造業現地法人と我が国との販売調達状況

### (1) 製造業現地法人の我が国への販売状況

我が国への販売額が過去最高を更新

1. 2004年度の製造業現地法人の日本への販売額は8.5兆円(前年度比24.4%増)と大幅に増加し、過去最高額となった(第14-1表、第14-1図)。

同販売額が日本の総輸入額<sup>注1</sup>に占める比率は18.5%と前年度に比べ1.5ポイント上昇した。

2. 地域別販売額では、アジアからの販売額は1998年度に大幅に減少したものの、1999年度から再び増加に転じ2004年度は6.6兆円(前年度比16.5%増)と過去最高となった。全地域からの販売額の大半はアジアからのものであり、約8割を占めている(第14-1表、第14-1図)。

3. 各地域からの日本への販売比率<sup>注2</sup>をみても、アジアの比率の高さは21.3%と、北米の3.7%、ヨーロッパの2.3%と比較しても際立っている(第14-1表)。

4. 主要業種別販売額では、輸送機械、情報通信機械が際立って多い(第14-2図)。

注1. 国際収支統計(日本銀行)

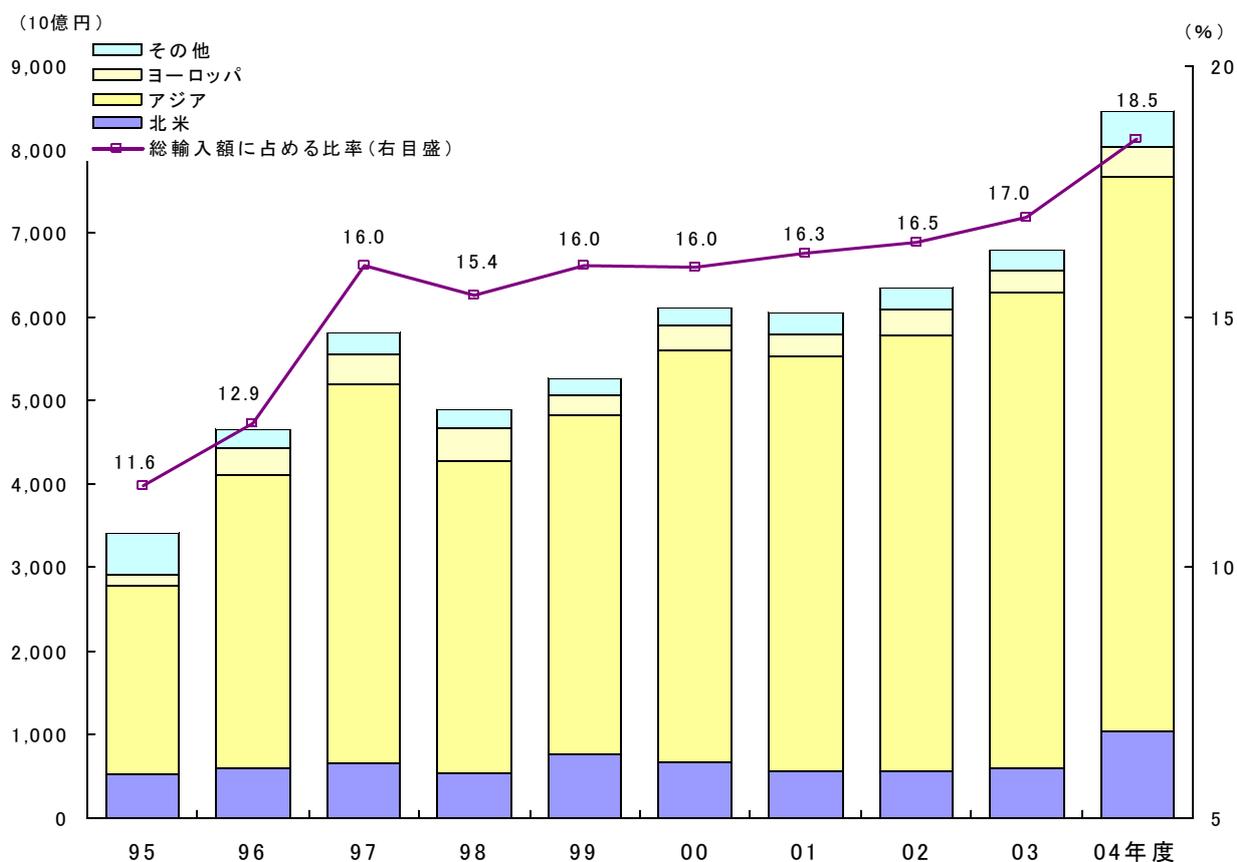
2. 日本への販売比率=日本への販売額/現地法人の販売総額

第14-1表 現地法人からの販売額・販売比率推移

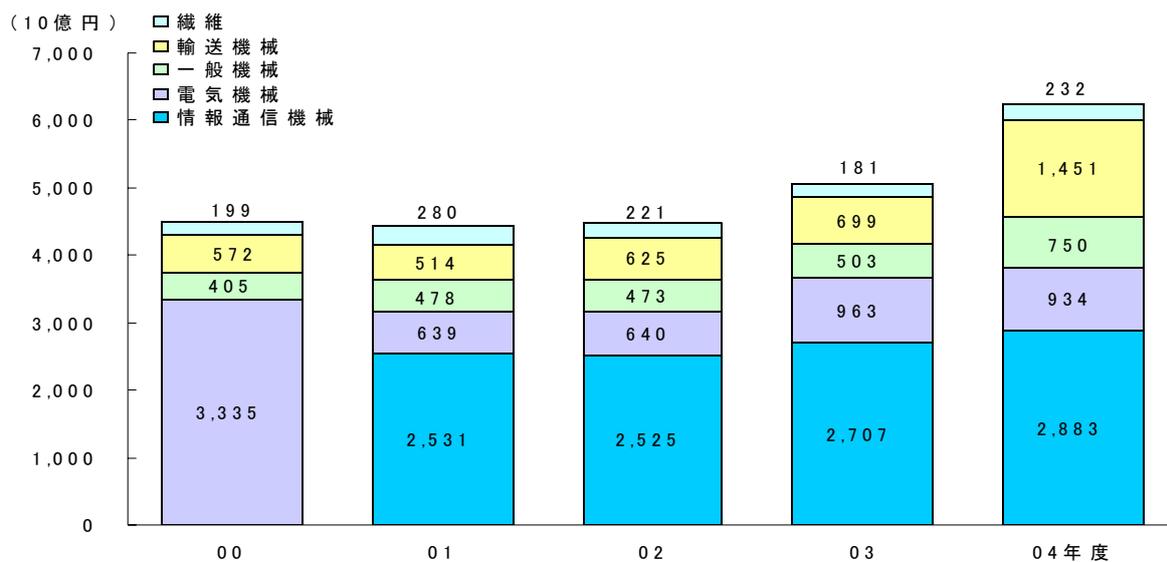
(単位:10億円)

年 度		95	96	97	98	99	00	01	02	03	04年度
日本への 販売額	全地域	3,425	4,642	5,810	4,886	5,272	6,113	6,045	6,352	6,799	8,460
	北米	517	595	645	549	770	681	553	568	598	1,042
	アジア	2,271	3,521	4,543	3,719	4,038	4,924	4,980	5,196	5,693	6,630
	ヨーロッパ	118	305	360	394	260	287	255	317	270	351
日本の総輸入額に占める比率		11.6%	12.9%	16.0%	15.4%	16.0%	16.0%	16.3%	16.5%	17.0%	18.5%
日本への 販売比率	全地域	9.3%	9.8%	11.2%	9.6%	10.4%	10.9%	9.4%	9.8%	9.6%	10.7%
	北米	3.5%	3.2%	3.1%	2.5%	3.5%	2.9%	1.9%	2.1%	2.2%	3.7%
	アジア	18.5%	20.7%	25.3%	25.1%	24.2%	24.7%	24.6%	23.5%	22.0%	21.3%
	ヨーロッパ	1.6%	3.3%	3.8%	3.6%	2.7%	2.9%	2.3%	2.8%	2.0%	2.3%

第14-1図 現地法人からの販売額及び日本の総輸入額に占める割合の推移



第14-2図 現地法人からの販売額の推移（主要業種別）



注. 2000年度までは情報通信機械は電気機械として分類している。

## (2) 製造業現地法人の我が国からの調達状況

### 日本からの調達額が過去最高を記録

1. 2004年度における製造業現地法人への日本からの調達額は20.5兆円(前年度比21.4%増)と増加し、初めて20兆円を突破した。日本の総輸出額<sup>注1</sup>に占める比率も34.9%と前年度に比べ3.2ポイント上昇した(第14-2表、第14-3図)。
2. 日本からの調達比率<sup>注2</sup>を前年度と比較してみると、北米(33.7%→31.7%)は▲2.0ポイント低下したが、アジア(30.6%→33.3%)は2.7ポイント、ヨーロッパ(37.6%→44.5%)は6.9ポイント上昇した(第14-2表)。
3. 地域別調達額では、前年度と比較して北米は微増に留まったが、アジアは2.1兆円増、ヨーロッパは1.3兆円増と増加した(第14-2表)。
4. 主要業種別調達額をみると、輸送機械と情報通信機械が際立って多い(第14-4図)。

注1. 国際収支統計(日本銀行)

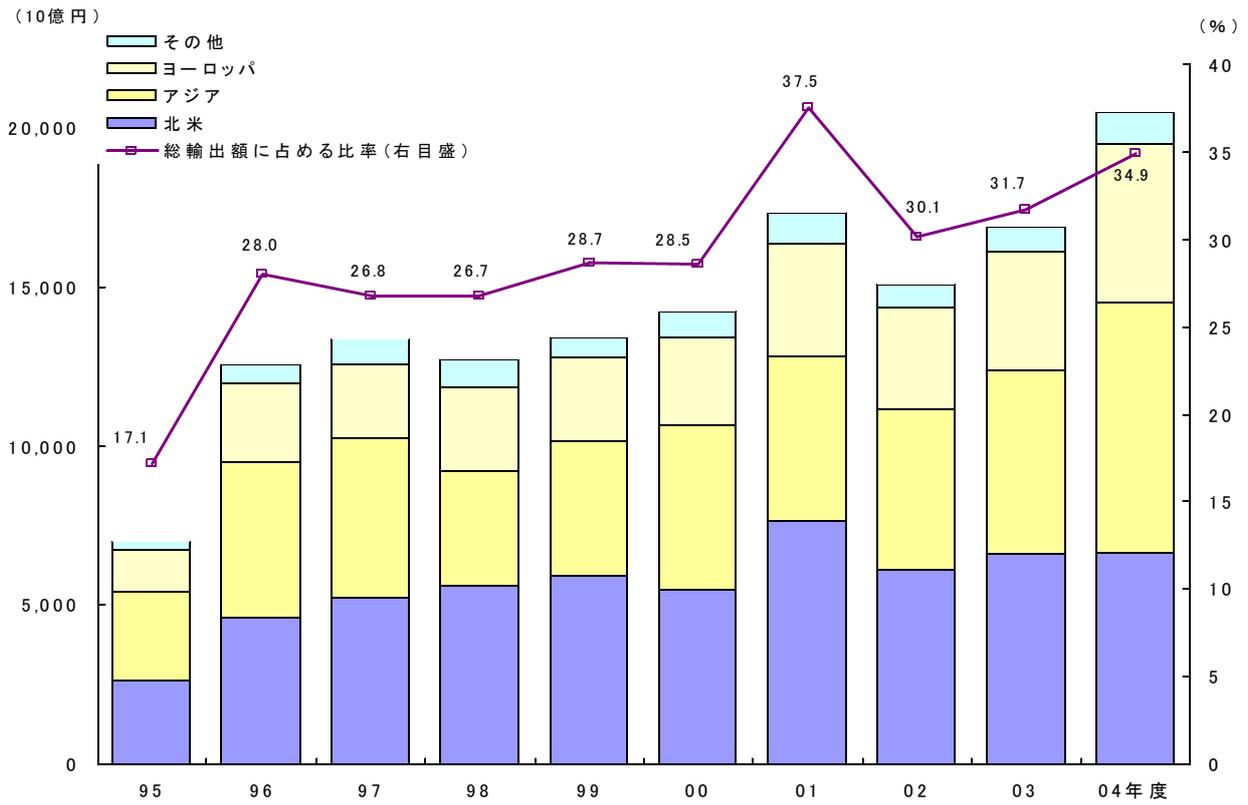
注2. 日本からの調達比率 = 日本からの調達額 / 現地法人の調達総額

第14-2表 日本からの調達額・調達比率推移

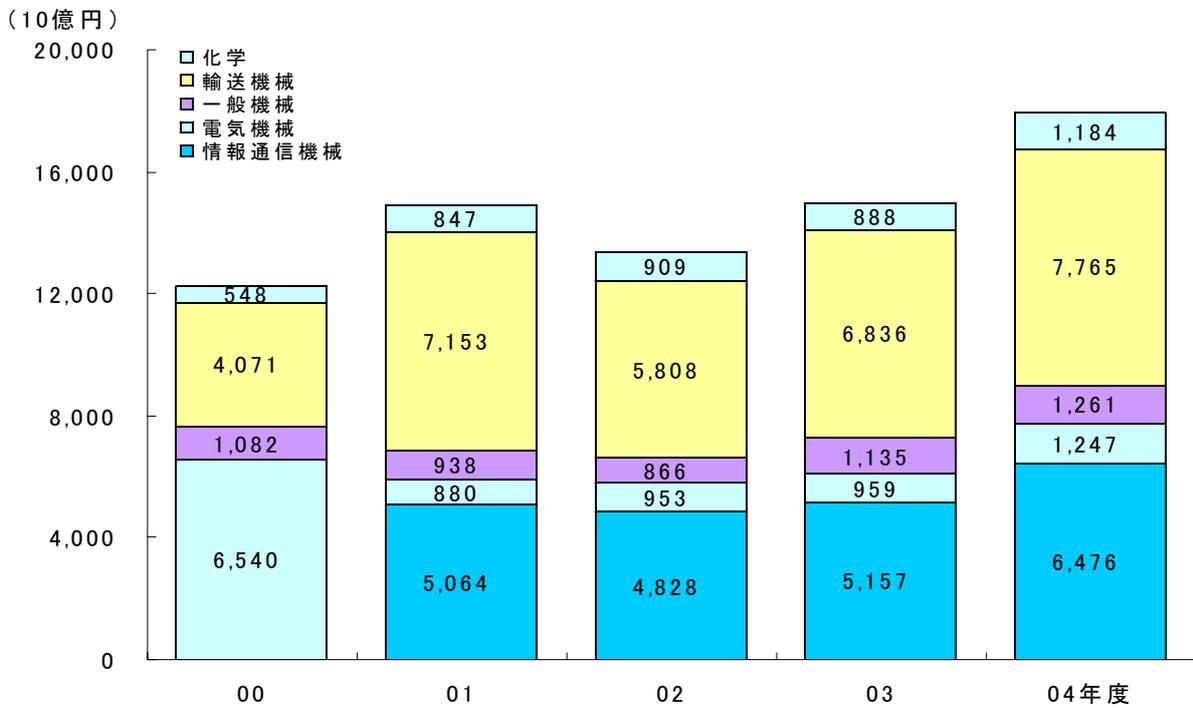
(単位: 10億円)

年 度		95	96	97	98	99	00	01	02	03	04年度
日本からの 調達額	全地域	7,016	12,553	13,353	12,741	13,397	14,216	17,329	15,091	16,912	20,525
	北米	2,623	4,601	5,256	5,608	5,919	5,445	7,629	6,093	6,617	6,654
	アジア	2,800	4,901	5,003	3,617	4,224	5,223	5,199	5,065	5,753	7,835
	ヨーロッパ	1,303	2,490	2,289	2,612	2,660	2,765	3,541	3,204	3,740	5,026
日本の総輸出額に占める比率		17.1%	28.0%	26.8%	26.7%	28.7%	28.5%	37.5%	30.1%	31.7%	34.9%
日本からの 調達比率	全地域	37.5%	37.6%	36.8%	37.8%	39.8%	38.5%	39.6%	34.3%	33.1%	34.7%
	北米	33.7%	36.1%	37.0%	40.1%	44.0%	39.9%	42.3%	33.6%	33.7%	31.7%
	アジア	40.5%	40.0%	38.8%	36.1%	35.7%	36.6%	36.1%	33.0%	30.6%	33.3%
	ヨーロッパ	44.6%	38.0%	34.2%	34.2%	38.2%	39.0%	41.5%	40.6%	37.6%	44.5%

第14-3図 日本からの調達額及び日本の総輸出額に占める比率の推移



第14-4図 日本からの調達額推移 (主要業種別)



注. 2000年度までは情報通信機械は電気機械として分類している。

## 15. BRICsの製造業現地法人と我が国との販売調達状況

### (1) 製造業現地法人の我が国との販売調達状況

今後の成長が期待されるBRICs

- 2004年度のBRICs<sup>注</sup>に進出している我が国製造業現地法人の販売総額は、8.8兆円(前年度比24.5%増)、調達総額は6.6兆円(同28.6%増)となった。ただし、中国の販売額を除いた額で比較すると、ブラジル、ロシア、インド3ヶ国の販売総額は1.8兆円(前年度比26.3%増)、調達総額は1.2兆円(同30.2%増)となり、まだ規模的には小さいとみられる(第15-1表)。
- 中国を除いた3ヶ国の地域別販売額をみると、現地販売額がブラジルは5502億円(販売総額に占める割合66.6%)、ロシアは85億円(同43.2%)、インドは7351億円(同78.3%)となっており、現地販売額の比率は高い。また、地域別調達額でもブラジルは4750億円(調達総額に占める割合84.2%)、ロシアは75億円(同52.8%)、インドは5285億円(同79.7%)となっており、同様の傾向である(第15-1図)。
- 主要業種別でみた現地販売額及び現地調達額は、ブラジル、インドとも輸送機械が際だっている(第15-2図)。

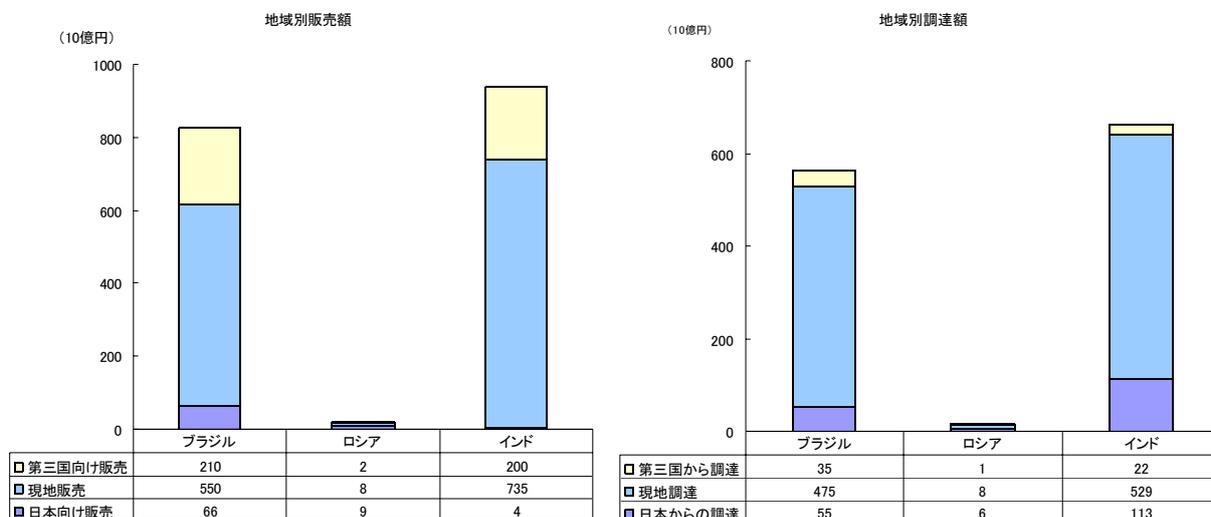
注. BRICsとは、ブラジル、ロシア、インド、中国

第15-1表 BRICsの製造業現地法人の販売総額・調達総額の推移

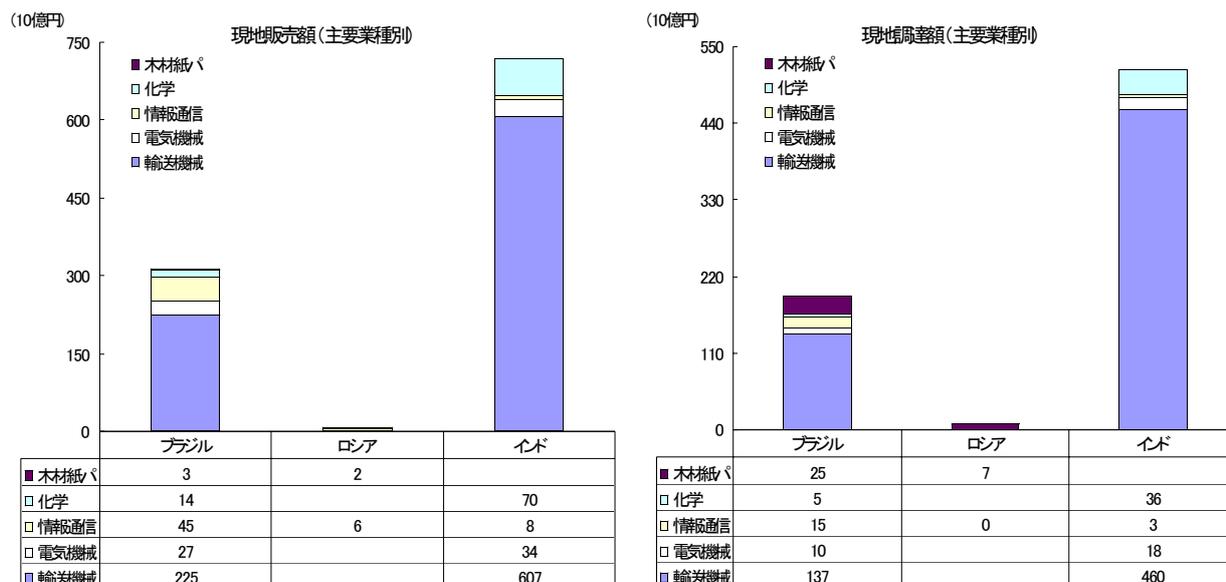
(単位：10億円)

	03		04年度	
	販売総額	調達総額	販売総額	調達総額
ブラジル	636	425	826	564
ロシア	16	11	20	14
インド	761	517	939	663
中国	5,635	4,142	6,990	5,313
計	7,047	5,096	8,775	6,554

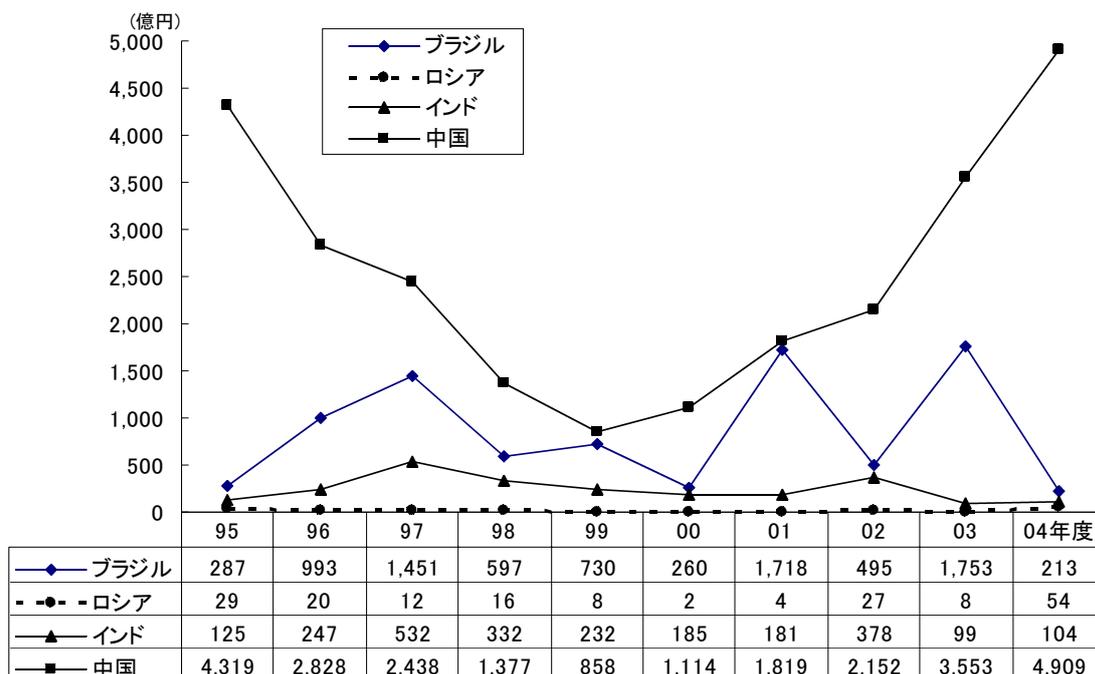
第15-1図 ブラジル、ロシア、インドの製造業現地法人の地域別販売額・調達額



第15-2図 ブラジル、ロシア、インドの製造業現地法人の地域別販売額・調達額（主要業種）



【参考】BRICsへの対外直接投資額の推移（届出ベース）



出典 財務省「対外及び対内直接投資状況」